



日

吉

令和2年度 5月号

大阪市立日吉小学校

今こそ「自学自習」の習慣を！

大阪市立日吉小学校長 山本勝巳

「もやし」 作：まど・みちお  
うえを / したへの / おおさわぎ

(もやしは、みんな上を向いて栽培されるが、出荷される時は、袋に入り、上を下への大騒ぎのように見える…という意味の詩です。)

詩人まど・みちおさんの「もやし」という3行だけの詩です。この詩を読んだ時、私はなぜか小学校でのにぎやかな教室を思い浮かべました。

3月から臨時休校が始まり、2か月近く子どもたちのにぎやかな声を聞くことがなくなりました。非常事態宣言が発令され、今のところ5月6日までは休校が決まっていますが、それ以降については未定の状態です。

学校が再開されたとしても、通常の学校生活に戻れるのか、遅れた学習内容をどのように取り戻すのか、給食は今まで通り実施されるのか・・・林間学習や修学旅行などの宿泊学習など例年通りに行えるのか・・・未確定なことが山積しています。また、長い間の休校を余儀なくされた子どもたちの心のケアも学校が再開してから必要であると、専門家の方は指摘しています。ゼロからの出発とよく言われますが、今年に関してはゼロではなくマイナスからのスタートととらえるべきかもしれません。

4月22日から3日間、2回目の課題を配付するために保護者の方に学校に来ていただきました。文科省や市教委からも“新年度の学習内容を家庭学習でできるように”という通知のもとに配付させていただきましたが、保護者の方にはこのような状況下で来校していただき、本当に申し訳なく思いました。

日吉小学校では昨年度から、『**自主学習**』に積極的に取り組む活動に力を入れています。2回目の配付では、約7日分の課題をどの学年も配付しました。その課題を計画的に取り組むことを基本としますが、それ以外に昨年度同様、ぜひ自主学習にも取り組んでほしいと思っています。

実施の仕方としては、(1)毎日どのように生活するのか予定表を立てる。(2)予定表には、計画的に学習したり運動したりする時間を入れる。(3)学習は、課題に取り組む時間と『自主学習』の時間を両方入れてみるのはどうでしょう・・・

一冊ノートを決めて、毎日1ページずつ問題を解いていってもいいです。好きな本や詩を視写してもいいです。調べたり読んだ本の感想を書いてもいいです。何をするかは自分で決めて毎日根気強く取り組んでほしいです。休校は『自分では本当は何がしたいのか・・・』問いかけるチャンスだとも言えます。